THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻　第三十四號

大正八年八月廿四日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□旅行……………………小橋三四子
□時事週評
□感化事業……………………久保眞英
□面白かつた夏　米國湖畔の天幕生活
……川島芳子女史
□旅信△九州より△アルプスへの途△飯越より
□市の眞中に居を占めた婦人ホーム……K子
□短歌　夢の華……安中花子
□星の世界……山岡勘一
□いろく社會の落毛の行方……民子
□女先生の服裝……斬雲
□染め返し法……大妻一惠
□郊外の住ひ……きよ子
□パンの燒き方……錢飯男
□オハナシ「自然兒」……琴子
□子供の智惠
□小説「犬と彼等」……高田てい子
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘　郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

九月號

斯論

毎月一回
一日發行

──(定價金廿錢・郵稅二錢)──

斯論壇…………………………社説
改造の天職…………………早稻田大學教授 永井柳太郎
國民黨の三役…………………鵜崎鷺城
動亂中の露西亞……………法學博士 戸水寛人
混亂の露國……………………外國語學校教授 鈴木音吉
ウラルを境として……………東京日日新聞記者 大庭柯公
慷慨悲憤の勞兵會記事………富士辰雄

小説
夢香の昇天…………………中谷徳太郎
アタラ姫……………………シャトーブリアン作 齋木仙醉譯
清朝史の裏面(承前)…………久保天随
ナポレオンとコルシカ…………長瀬鳳輔
なかじきり……………………醫學博士文學博士 森鷗外
戀愛無國境……………………山中冬二

社會制度と三面記事
社會問題となる勞働記事……法學博士 古賀廉造
斯くありたき三面記事……農學博士 佐藤昌介
瓦版と今日の社會記事……文學博士 佐々政一
新聞紙は社會の救濟者……獨逸法學博士 原夫次郎
虛構と臆測の三面……山脇高等女學校長 山脇房子

發行所 東京牛込區矢來町十一番地 帝國聯合青年會 電話番町五一六八 振替東京三五三七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

旅行

□旅といふ特別な氣分

日本婦人の旅は、まだ多くは樂しむのでなくて、苦しむやうに見えると私は旅する毎に感じさせられます。旅といふ落付かない氣分の中に、服裝を氣にし、髮の亂れるのを心に掛け、汽車中の狹い場所に腰掛けるのを難儀に思つたりして、やつと旅に疲れない樣にと、自分をいとほしむのに一杯であります。食事は食べたり、食べなかつたり、餘計な間食をしたりする上に、小さい荷物も赤帽に持たせて、規定の料金の倍も心付をやつたり、一寸茶屋に休んでは、溢すやうにお金を拂つたり、つまらぬ土産物を買ひ込んだりして、極めて不經濟な生活になります。そして旅！旅！といふ特別な氣分に支配されて、けふも亦我が生涯の再び返へらぬ一日であるといふ事を忘れ勝ちになります。

□名勝地と人心の荒廢

從つて旅行は金の要るもの、臆劫なものとされて居ります。旅客を迎へる名勝地は、これ等の一時的な心を持つた人々に、純朴な氣風はすつかり壞されて旅人をお客扱ひにし、成るべく金を多く使はしてやらうとの工夫斗り凝らして、土地は俗化し、人情は荒びて終ひます。西洋人の避暑地として知られて居る輕井澤でも二の岡でも、避暑客は荷物を持つて步くか、精々乘合馬車を利用する位でありましたが、日本人が入り込むと直ちに多數の車屋が陣取つて、都合よりも高い車賃を請求するやうになります。地方に行つて停車場の車が、無暴な値を取る事で、先づ興味を壞されて終ひます。

□容易くせぬ旅

近年我が國の男子は交通機關を利用して、東西に驅け巡り、活潑に事業を營み、休養もするやうになりましたが、婦人は旅に出る事は、容易ではありません。必要な事があつても、汽車に乘つて行く土地ならば、先づ見合はせる事になります。まして一兩日の休みを利用して、都を離れて新鮮な空氣の中に休養して見やうなどゝの考へは乏しく、それよりも家に寢て居る方が、金も要らず、身體も樂であると思ふやうであります。かういふ不活潑な氣分が、陰氣な性質を作り、身體を虚弱にし勝ちであります。

□服裝の改良

「旅行を賢くする法」は、料理洒掃の業と共に、もつと我が國婦人に考へられてもよい問題であります。然し方法の巧拙よりももつと根本に溯つて、其の戶外生活を快からしむる爲めに、服裝の改良が必要であり、幼兒より戶外の遊戯をもつと獎勵したいものであります。富士に登つた友人等は、やう〳〵高きに登つて困難な道にさしかゝると、帶は邪魔なり、袂はうるさく、其の上に寒さが加はるので、宿で借りた褞袍を重ねて步くので、益々骨は折れる、これが第三者から平氣で見物されたら、どんな醜態であらうかと我れ乍ら痛ましかつた。もしこれが簡單な洋服で、スエーター（毛糸で編んだ厚い上着）一枚用意して居つたら、よほど身輕るで骨も折れなかつたらうにと、熟々服裝改良の必要を感じたと語つて居られました。登山の折斗―

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りでなく、一歩家庭外に出れば先づ下着の改良を切に感じ、次で服裝やその用布に就いて、考へさせられます。一滴の雨にも、汚點の出來るやうな、切れ地は、織元で拵らへないやうに、買ひ手が心して供給者の注意を促すやうにさせ度いものであります

口戸外の散步遊戲

も一つは子供の頃より戸外の散步や遊戲を奬勵致したいものです。この頃は體育の聲が盛んになつて參りましたが、まだ、公園や共同の運動場で、女兒の姿を見ることは割合少うございます。殊に女學校の上級生位になれば、學校で遊戲する外には、多くは女らしかれと家に引き止められて居ります。郊外や地方に行つても、女は散步する者さへ尠いので、夏場の田舍道にさへ都會の女を見れば、物稀らしく思ふ位であります。清涼な空氣の中では、一里步いても、都會の十町程の疲れも覺えません。毎日日課として步むもよし、近傍の山に登るもよく、またテニスや乘馬を試みるやうにもなれば、猶更ら結構でせう。母や姉がさういふ興味が起つてくれば、遊び度い盛りの女兒等は、奬勵しないでも活潑に運動するやうになります。

口世界を廣くする法

今は現に私共の生活は世界的で、苟も開明國に一事が起れば直ちに我が日常生活にも波動を及ぼして來るのです。その國に住ひながら、婦人が家庭以外に世界を求めぬのは謬りも甚だしいものであります。外出を臆劫がるこれ等の婦人は、旅行を苦にする斗りでなく、輕い社交の訪問にも、婦人會の集りにも、甚だしきは約束の場所にさへ、二度三度の催促を受けなければ容易に集つて參りません。愈よ其の場所に其の人の顏を見る迄は、主人役は堪へず氣を配つて、幹旋しなければなりません。かやうな浪費を先づ改めなければ日本婦人の進步發達を希ふのは更らに徒勞であります。婦人の生活を家庭より次第に擴大して何處にも樂しく落付いた氣分を持てるやうにすることは、婦人の世界を廣くし、やがて世界的の氣魄を養ふ所以にもなりませう。（三四子）

時事週評

口名士相續いて逝く　過ぐる一週の中に、學界の耆宿菊池男爵は突如として逝き、續いて奥田市長を失ひ二男爵に先つて美術界に其の名を知られたる岩村男は、轉地先きに逝去せられました。同じく悼ましく思ふ中にも奥田市長は嘗て先生として親しく教授を受け我が東京市長として渾身の熱誠を捧げて、善政を布かるゝに遇ひ、常に敬慕する處の深かつた丈けに、一層痛惜いたされます。市政に忠誠なりし奥田男爵は、又若い女學生の群に、其の理解をも疑はずして、熱誠を以て法制を講じられました。明晰な講義振りと、時々混る諧謔と、所謂教授振らぬ暖かさは、今更らの如く思ひ出の種となつて、悲しみを添へます。

口婦人の論爭　七月號の「新小說」に平塚明子女史の「矢島楫子女史と婦人矯風會を論ず」と云ふ評論が掲げてありましたが、九月の矯風會機關紙「婦人新報」は同會幹事久布白落實子女史のこれに答ふる十數頁に亘る一大論文を掲げてあります。徒らに感情に走らず、廣く遠く、歷史に根據を置いて、徹底的に所說を述べてあるもので、よく婦人矯風會の主義と矢島楫子女史とを紹介してあります。婦人が學問を喜ぶ傾向にはなりましたが、まだ其の思想を世に行ひ、或時は鬪ひ、或時は互に其の蒙を啓き、或時は共に世を動かさうとする積極な態度が少なかつたのですが、かうして堂々と主義に就いて紙上の論爭をするのを見るのは喜ぶべき事であります。

口無智の悲劇　島根縣下の小學校に於て、校醫がトラホームの豫防藥を塗布しやうとして、痳病患者に用ひたる器械をその儘使つて、罪もない三名の兒童を失明せしめ、他の四名の片目を害はしめた事は聞くにも堪へない痛恨事であります。少し醫學上の智識があれば、當然避け得べき事を敢へてして、人の子を廢者にした罪は何を以ても贖ふ事が出來まいと思はれます。小學校だからと云つて、よい加減の醫師を校醫に迎へる事は、返へす〴〵も戒めたい事であります。

二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

感化事業

「勤勉はその藥餌」

文學士　久保良英

□惡の中途にある者

不良兒の感化教育だとか、感化事業だとかいろ〳〵に感化と言ふ言葉を用ゐますが、私は之れ等の場合に用ふる感化と言ふ言葉の意味を、惡くならうとする者を善の方へ導くと言ふやうに解釋して居ります。故に感化と言ふことは、白いものが赤く染つた時に藥を用ひて本來の白さにもどすと言ふやうな其樣な性質のものではなく、その人の境遇上、何時しか惡くなりかけたのをそれ以上惡くならないやうに豫防し、且つ漸次善の方へ眼を開かせることだと思つて居ります。まだ十六歲以下の年頃の者は不良少年と言つた所で底の底まで惡くなり切つてゐるのではなく、その多くは惡くならうとする途中にあるものが多いから、惡い方に向きさうなのを向かないやうに善の方へと補導するのが感化だと思ひます。

□英國の感化院

元來子供の性質には善にもなり惡にも向ふ素質が備つてゐてその何れに向ふかは、その子の境遇によるのであります。假令ば怒りの本能にしても、正に對する怒りは善いと言ふやうに、本能そのものが善でも惡でもなく、教育だとか境遇だとかによつてその善惡が定まるのでありますゆゑ故に不良兒はその不良兒となつた原因を研究し、その原因をとり退かなければならないではないでせうか。歐米の感化院を見ますと、英國では倫敦から少し離れた田舍にあるのが最も宜しいと思ひました。其處の開院式にはコンノート殿下の台臨があつたと聞いてゐます。米國には宗教に關したものに宜いものが澤山あるやうに思はれます。殊にキヤソリツクの尼さん達が警察から連れて來られた不良兒と寢食を共にして全く獻身的に世話してゐる所などに、その內部の如何は分りませんが外から見ると實に理想的な設備であります。一體子供の世話を婦人がすると、温かい母のやうな感情をふり注ぐので、自と注意が行き屆いて非常に成績が宜しいやうに見えます。日本にも隨分澤山尼さんがあるから見識のある人は斯うした方面にも働きを見出されると、社會の爲めに好都合だと思ひます。

□米國の少年裁判所

また米國では一方警察から牢屋に連れて行くと周圍の惡を見習つて惡に傾き易いのでコロラド州デンバー市では少年裁判所を設け、大人の裁判と全く異つた事をして居ります。この裁判所の判事はリンゼイと言ふ人で、この人は學校警察から不良行爲をした兒童が來ると父母付き添ひで出頭を命じて調べます。まづ硝子を破はした子供だとすれば、人はどんなにして住むのであるか、惡戯は何の程度にして宜いか、お前は硝子を破はしたが、夫れは宜いことか、惡いことか、若し今後もするなら感化院へ行かなければならないと言ひ聞かせ、二ケ月間學校で監視させて毎金曜日にその一週間の行狀と學業成績をカードに書いてリンゼイの許に送らせます斯うしてその成績が二ケ月間宜かつたら許すことになつて居ります。また時に惡いことがあれば注意を與へ、幾度も惡いことが重れば感化院へ送ります。そして此の監視中は兩親が預かることになつて居りますけれど、兩親が子供を預けるに不適當な人だとか、家庭が子供を不良兒にした原因をしてゐるやうな場合には、留置學校へ送ります。この學校には專門の醫者も媬姆も學校の先生も居りますので、體格檢查を行つて先天的に低腦な子か否かを判別すると、一日も教育を忽にしないやうに今迄どほりの教育を此の中で施します。米國では此の方法が面白いとて今は方々で行はれて居ります。

三

□規則正しい生活

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何れにしても不良兒の感化と言ふことは、不良兒になり切つたものでなく、その途中にあるものを善の方へ補導することでその方法は澤山ありませうか、その急務は原因を探り、夫れをとり除くが宜しいと思ひます。この硝子を破る子にしても、意志が弱くつて慾情を制し得なかつたり、抑へ得ない爲めとか、また我儘な感情の爲めとか、兩親から見捨てられた爲め不良に

四

なつたとか、繼父母育ちで心が猜疑んだ爲めとか原因はさまぐ\でありませうから、その境遇から離して導けばよくなりませう。歐米では感化院のことを勤勉學校と呼んでゐますが、要するに感化院のことでありませう。其處では百姓もさすれば、工業にも從事させます。機械なども取り扱はせて、過去の境遇を忘れしめるやうに規則正しく勞働をさせ、また勉學もさせて居ります。不規則な生活は不良兒になる一原因であります。日本の井の頭の家庭學校などは夫れに眞似た一つでありませう。また先天的に低能で、全く病的なのは、不憫ながら周圍から隔離し、一生結婚をさせず、所謂養ひ殺しにするより外に途はないだらうと思ひます。そして感化事業などには兎角しかつめらしく大人の考へる道徳にしばりつけたがるものですが、子供は子供らしく取り扱かつて遣るべきだと言ふことを付け添へておきます

面白かつた夏（五）

米國湖畔の天幕生活

——川島芳子女史——

▲『私は曾つて北米のニウハンプシヤ州のムスクムレークの邊りで一夏を過したことがございます。その湖水は周圍が山になつてゐて一寸近江の琵琶湖に似た感じがし、氣候は輕井澤くらゐ涼しい所でございました。』と話し出されたのはフレンド女學校の川島芳子先生である。女史は長く米國で家事を研究なすつた方、お庭にはバサ〱音して芭蕉の葉が茂り、伊豫簾に青い蔭を落してゐる。開け放した八疊の室は簡單な洋風に裝ひ、籐の寢椅子などが並べてあつた。私は女史とテーブルを隔てゝ籐椅子によると乃木坂下のお宅は靜かで涼しい風さへ吹いてゐた。女史は話しつゞけられる。

▲『湖水の周圍には青葉の中に荒木造りの質素な別荘が點々と置かれてあり、人々は平日の煩雜な生活をのがれて其處で簡易な日を送るのでございます。子供も大人も老人もボートに乘つたり、モーターボートを走らせたりして無邪氣に遊んでゐます。私は日本へも來られたことのあるミスベーコンと言ふ婦人の所有地のデープへーブンの一廓に天幕生活を營んで、クツクの手傳や給仕などをして家政や料理の實習をして居りました。このデープへーブンの一廓に住むものは食事だけが一所で大きな共同の食堂があつたのでございます。

▲『そして毎土曜日の夜は雨さへ降られば簡單な食事を持ち出して、岬のやうになつた湖水の水際で、立食し、焚火の火蔭で遊戯をして面白く過しました。此の夜にクツクの黒人に歌を歌はせなど致しました。ミスベーコンは黒人の教育に熱心な方だつたので、大抵高等女學校程度の教育のあるものゝみでございます。彼等はよく土人解放の時の歡喜に溢れた喜びの歌を七八人聲をそろへて歌ひました。またこの地には午後の二時頃に一度づゝ郵便船が來て手紙を置いて行くので、私は夫れ〲配達して居りましたが、後には配達する前にみんな私の方へ取りに來られるので大騒ぎでございました。』など、その日を追憶するやう仰有る。

▲また其處では夏中に一同づゝボートの裝飾會があつて、各自に意匠を凝らされたものださうか、女史の組では日本の屋形船を作つて皆をやんやと言はされたさうである。その年の一等賞になつたのは、空舟の周圍に胡瓜提灯を燈したものであつたと言ふ。

『彼地の人は避暑に行つても無意味な、空虚な生活をせずに、何かしら有益な事に使つてゐます。』とも仰有つてゐた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

旅信

九州より

三角錫子

湯の山の峠を越せばゆのほてり
草のいきれに身うちやかるゝ

海地獄碧潭のごとき大池は
たきりたきりて湯けむりのたつ

けふより歸路にむかひ候

――八月十三日――

アルプスへの途

吉田清子

島上より

そろ〳〵此邊を通過しつゝあります。夜は黑く、大きく横つた山脈の雄大さ、水の音は淸い囁をたてゝます。夕暮のちぎれ雲の怪しきたゝずまひは、ほんとにアルプスに近づきつゝある事を思はせられます。

上高地温泉より

大正四年の燒ケ嶽の噴火の跡を通つて、今上高地の温泉へ着きました。噴煙は濛々としてまだ盛んです。燒石と岩と大木は無慘に倒れて、靑いものは見られません。溶岩の恐ろしい音と共に、押し倒された山は河口に落ちて、大正池を作りました。池の水は紺碧を湛へて、燒けたゞれた白珊瑚のやうな白樺の木が、水の中に林立してます樣は、一奇觀でした。十八日は雪のある穗高登りです。

腰越より

川口華子

今年は主人の任地樺太に夏を過さんかとも思ひましたが、幼き四人の子供引連れての長途の旅は容易ならずと老人達に止められて、遂に此處腰越に女中共六人簡易生活を送る事となりました。例の通り七つ道具に兼用するアルミニユームの茶碗等の勝手道具から、蚊帳、蒲團迄、三個の大荷物にして、漁師町の一軒を二家族で借りる事にしました。こゝは六疊、八疊、三疊に勝手付きの家で、一と夏二十五圓です。海には二三分で行かれ、一寸横町を出れば、鎌倉、片瀨通ひの電車があります。魚は午前、午後捕れるので濱人から買ひ入れて直ぐ料理をし、藤澤から來る新らしい野菜や、鵠沼で出來る水瓜、桃等も、豐富に膳に上せる事が出來ます。新鮮な海の空氣に晒されながらよく運動する大人も子供も、食慾は頓みに進み、膳に向へば心地よいほど、盛りかへられます。雨の日は心靜かに讀書したり、子供に話を聞せたり、紹物のつぎ當てなどで、厭くことを知らぬ程です。かうして一と夏を送り、九月よりの新學期に、子供等は元氣に充ちて通學の出來る事と今からそれを樂しんで居ります。

此度試みた他の家族との共同生活に、誠によい事と存じました。輕井澤邊りで、西洋人は一家に三家族位住んで樂しく暮して居りますが、利己主義の日本人には、かやうな事の出來ないのだと遺憾に思つて居りました。然るに、この度親類と申せ、二家族共同して生活を續けて見ましたのに、相互親しき間に禮儀を立て子供等も自ら心も引締つて、喧嘩等自分の家に居るよりも致しませんので、一度も嫌な心地のした事はありません。此の後も亦かういふ共同生活で避暑したいと申して居ります。然し炊事は全々別にいたして居ります。左に當地の物價表を添へて置きます。

砂糖一斤(煮物用)	十六錢
茄子十個	二錢五厘
水瓜徑八寸位のもの	十七錢
水蜜桃大一個	一錢三厘位
薩摩芋一貫目(上等)	二十五錢
鰹刺身三人前	十五錢位
鯵五寸大	三錢五厘
鰯六寸大	三錢
鯖七八寸位	三錢より四錢
車蝦大二十	十二錢
蒲鉾中板一本	二十錢

米、味噌は東京と變りはありません。

――八月十一日――

五

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

市の眞中に居を占めた 婦人ホーム

——來る女兒も來る女兒も皆主任が先づ試驗にかける——

東京府から依託される不良少女を收容する婦人ホームは、去る十三日に婦風會の本部から離れて赤阪新阪町の六十九番地に移つて獨居した。私は移轉して漸く五六日した某日の午後訪ねて見る。乃木阪をダラ／＼と降りた左横の、青いアカシャの森蔭にある涼しさうな家である。まだ移つたばかりの日の、大工が這入つて棚などをつつて忙しさうなのに庭には五六本の物干竹に洗濯物がかけられ、張り板には布切が張つて日光に乾かしてあつた。荷物はまだすつかり片付き切つてゐない。

『大工の手が遲れましたので、まだ此樣なに取り散らして居ります。』と監督の岸環女史は仰有つてにこやかに迎へ、涼風のくる明るい室でいろ／＼お話をして下さるのであつた。それは斯うである。

＊＊

『婦人ホームと言ふものを世間の方は隨分誤解なすつてゐるやうに思はれます。』と言つてその理由をのべたり、また近頃の生活狀態や感想を仰有る。まづ婦人ホームと言ふものを誤解された爲めに、この家を定められるまでに幾度か苦しい思ひにかき暮れられた。家を卜し、契約を決めかけると周圍の人が墮落し切つた放埒な女が集りくるやうに信じて嫌がり邪魔をしたり、家主に强いて斷らせたりして容易に家を求めることも出來なかつたとか、今度の家は家主は物のよく分つた方だし、周圍もよし、且つ家の間取りも好ましいので借りることに決まつたと言ふ。

『慾を言へばもう少し庭が廣いと宜いけれど、とさう思ひますの。』と殘念さうに仰有る。庭は曲の手に一間半位ゐの奥行きで廣つて外は板塀になつてゐた。家の間取りは襖を取り除されてあると監督者の居間からお勝手に至るまで一間も蔭になる室はなく、お湯殿の水道の栓まで見える。全體で六間あり、玄關が三疊、書生部屋と下女部屋らしい三疊の間が二つ、それに六疊の茶の間と六疊と八疊のお座敷が二つ、勝手は四疊半で板の間湯殿は三疊敷きのたゝきの土間になつて、洗濯場には高い脚のついた幅一尺二寸、長さ四尺深さ五寸ばかりの臺があつて立ちながら出來るやうにしてあつた。玄關を除けば何の室にも廊下傳ひに行き得るやうな巧みな構造である。

六

『私は少々お寒くなつても襖は用ゐないで、すべてを共同の室にしてみやうと思つて居ます。』と之れからの計畫なども話の間にとり混ぜられる。

＊＊

女史は言葉をつゞけて、

『目下收容してゐるのは全部で五人、みんな父兄から依頼をうけたものゝみでございます。警察から來るのは家がすつかり片付いたら迎へやうと思つて居ります。ごた／＼の中へ迎へては思ふやうな成績が餘計に得られないだらうと言ふ恐れがございますので。私は以前から可成り色々な人を預つた經驗はありますけれど、それは凡そ平凡な人達で、此度のやうな特殊な方は初めてでございますから、お引きうけした丈でも自分ながら大膽すぎたと思つて居ります。でもお引き受けした以上は最上を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

盡し、出來るだけよくしたいと願つてゐます。自分の身が仆れるまで祈りを以つて努力する覺悟でございます。」と。この事業は定まつた基金としては會からうける千圓だけで、他は悉く特志の人の寄附によらねばならないとの事、淪落の底を匐つた影の暗い女の來る所ではなく、其處へ落ちやうとする女を助ける所である。現在ゐる五人の婦人も父兄がもてあまして託した人故、何かしら特殊の性癖はあるけれど、それが少なくなり次第奉公にでも出さうと言ふのであるさうな、まだ日が淺いので多くを知ることは出來ないが、何れも來るとまづ監督者の人物を各自の心に試驗し、その人物に對する甲冑をつけて戰鬪準備をする。

『なか〳〵來る人は利巧でございますから、何をするにも計略でかゝつて參ります。萬一一つの計略を見破られて失敗すると又その上の計略を立てるから此方が相手になると戰爭になつて了ひます。で初めに計略を以つて向つた時に彼等の度膽を拔いてやらねば治まりがつきませんまづこの人は見當のつかない人だと思はせると、割合に素直になるやうに見えます。』と仰有つた。炊事は交代でし、他の仕事は各自好き〳〵によつてさせてある。

❖

女史は今日までに可成り種々くな境遇に出合はれた方で、喜びも悲しみも、苦しみも味ひぬいた、人生の機微を知り切つた方である。この事業を自分の生涯の仕事としてうけ入れられるまでには山中に入つて一週間祈りつゞけられたほど、愼重な態度であつた。女史を知る人は擧つてその聰明で獨創的の才に富んだ所を咏嘆する。今後この境遇はどう御啓きになるか。

『特殊の人と共にゐるには唯祈りが心の通ずる一つの途です。』と語つてゐられる。收容者の大半は着のみ着のまゝな人が多いので、着物から夜具に至るまで備へつけられつゝあつた。夜具は十五人前揃つてゐたが、悉く方々から寄附された小布を綴ぎ合はしたものゝみである。夜具にならないやうな小布は袋を縫つて木綿と絹とを別々に入れてあつた。絹の布切は暇の時に細工物をさせやうと思つてゐられるさうな。寝る時には大きなシーツを體にクル〳〵と卷きつけ寝ながら活動し、亂暴をして飛びはねても布團に肌がつかないやうにしてある。江原素六翁から落し紙にもとて封筒の中味の紙をとぢ集めて一かゝへ寄附されてあつた。之れは毎日來る手紙を朝十分間づゝに整理して綴ぢて置かれたものなさうな。此處には如何なるものでも不用と言ふものがない。特に下着類に尤も困られるさうである。收容したものは初め風呂に入れ、髮を洗はせ、下のものまで全部とりかへさせてから上に上げられる。此樣なにして收容しても感謝の念にうすく、働けば働いた報酬がほしい連中だと聞いてはその荒んだ心根が氣の毒である。今ゐるのは十四から十七迄の人のみであつた。私はこの大きな働きをとられた女史の健康を祈つて筆をおく。(K子)

夢の華

安中花子

たやすうものに驚く心もて生れし我ときみは知らじな
命死ぬ人の子ゆゑに有り經つる此のはた年の空虛に泣く
美しく短く消えし夢よりぞ今日もかよわき我が心かな

(一九一七、八、十四、御殿場にて)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

星の世界

秋空に閃きを増す

理學士　山岡勘一

□今日は七夕に當る

八月廿四日は舊暦の七夕に當り、織女姫が年に一度天の川を隔てゝ牽牛に會ふといふ大切な一宵であります。こんな傳説もこの頃の空がやう〳〵美しさを増す所から起つたものでせう。天文學上から申せば、牽牛、織女は、どの星でせうか。この空も地球上に國があるやうに、星の群によつて凡そ百區位に分けてあります。例へば航海者の羅針となる北極星のある小熊星座、其の傍らにあつて、俗に北斗七星といふ大熊星座、恒星の中一番よく光る一等星中の王ともいふべきシリアスといふ星のある大犬星座、之れに續いて光りの強いレオ（獅子星座）といふ星群―之れは四月の夕方南方に見える光りの美しい星―等は普通知られて居る星座であります。天の川はこれ等の星座を貫いて、灰白色の帶となつて表はれて居るので、春は殆ど地平と同じ位ゐの邊にあるので、見る事は出來ません。やう〳〵秋風が立ち初めて、空が瑠璃色に碧く澄み渡る頃になると、夜毎に美しい光りを放つやうになります。

□牽牛織女の傳説

織女星といふのは、人も知る如く天帝の愛娘で、日毎夜毎機織に浮身を窶し、諸々の天の御神の羽衣を裁ち縫ひして、生れながらの美容を飾り立てる暇もなく働らいて居られたので、天帝は之れを憐み給ひ、河東の牽牛星に嫁がせました。嫁いで後の織女姫は、新郎の嬉しい情けに醉ふて、機織る事も打ち忘れて居たので、遂に天帝の逆鱗に觸れ、織女姫を再び河西に連れ戻し、僅かに一年に一度の逢ふ瀬を許して、再び機織る事に從はせました。姫は之れを恨みもせず、年に一度の合ふ瀬を樂しみに再び元の勤勉な織女となられました。秋も初めの七夕の夕、懷しき夫のもとに行く織女姫をもしも雨など降つて天の川原の水が塞ぎ止めるやうの事でもあれば、鵲は川を埋めて橋を作り、或は翼を廣げて姫を背に乘せ、河の東へ送り屆けるといふのであります。

□天文學上の星座

このゆかしい織女星は琴星座（ライラ）といふ非常に光りの强い一等星であつて、天の川の南に位して居ります。そして牽牛星は鷲星座（アクイラ）と云ひ、之れも光りの强い一等星で、天の川を隔てゝ二星が相對して居ります。これ等は何れも恒星で、織女星が其の位置を離れ、天の川を超えて行くなどの事は、全く思ひも及ばぬ妄說で、地球の轉回によつて、さう見えたのかも知れません。

□無限の宇宙

此の宇宙には、肉眼で見える恒星が凡そ六千あります。これ等を六つの光りの等級に分つて一等星、二等星と呼んで居ります。六千の中、半分は地球の下になつて隠れて居ります、地平線に近いのは、塵埃の爲めにかくされて、通常見えるのは二千位に止つて居ります。もし一と度望遠鏡の助けを藉りやうものなら、實に無限の恒星を見出します。之れ等が一つ一つ世界を營んで居るのを知れば、佛者の所謂三千世界はをろか、實に宏大無邊の宇宙の實在に只驚嘆する外ありません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會（二十）

落毛の行方

―向島小松島の大問屋を見る―

▲秋風が立ちそめると秋毛が脫け出す。五六本、七八本、多い日は一櫛に頭の毛がなくなるかと思ふほどぐつすりとか丶つてくる。私達はそれを無造作に紙にくるんで丸めて了ふけれど、その髮毛の行方は何處でせう。自分の頭のものだと思へば私は矢張り知りたい。

▲紙にくるまれた脫毛は屑屋の手に集められて二貫目三貫目と言ふ額になると、かもじやの手に渡る。私の見たのは向島小松島の高木商會の人髮部であつた。主任の飯塚氏は大きな工場を見廻りながら說明して下さる。人髮の原料は目下非常に騰貴してゐて一貫目が四圓八十錢前後、大正二年頃は七十錢だつたと言ふことである。最も安かつたのは明治二十年頃で同じ一貫目が二十錢から三十錢であつたさうな。そして日本の女の頭から脫け落つる脫毛は何程あるか、兎も角も市場に集るもの丶みが每年平均三百萬貫、但し高値をふんでくると惡辣な商人が出て一儲けしやうと思ひ、非常手段をさつたりするので一日に脫毛を三百貫目以上古かもじ一百貫目は集めるさうである。

▲この各地の女の頭から脫け落ちた髮毛は、埃まみれのま丶水氣を含ませた粉砂と共に初め大釜の中で蒸され、そして取り出して砂をふるひ落すと油と埃は砂に吸ひとられて、少しく髮毛本來の美を發揮する。次ぎにこの髮毛を荒櫛にかけ、長短各々區別すると共に大釜に投じて藥で蒸し染めにし、取り出してソーダ水や石鹼で洗ふ。斯うすると髮毛は漆色のつや〳〵しい光を發する。之れを更らに荒櫛にかけてよく〳〵とかし、次ぎに手で長さの揃つたもの丶みを拔き集め、一等毛、二等毛、三等毛等と分ける。日本人の毛は一等毛が三尺五寸から四尺止りだと言ふことである。この長さで等級を定めると次ぎに値段によつて長短各々の毛を混ぜ合はせてかもじを作る段取りになるのである。日本人のこの一等毛は一貫目目下三十圓であるが、西洋人の同じ長さの毛は一貫目が二千圓もするとか、何しろ髮毛の長くのびるのは東洋人のみで、西洋人には三尺五寸以上の毛などは殆どないからなさうだ。日本人の毛で西洋人のかもぢを作るには初め色々の色に褪色させてそして機械を以つて三つ位ゐに割り細くするのだと言ふ。支那人の毛は一年に一千萬貫づ丶集まるが、値段は日本人のものよりずつと下る。但し長さは五尺に達するものさへある。

▲この集まると恐ろしく多額に上る髮毛の用途を見るに、最も多いのがかもじで、かもじに用ゐ得ないものがすき毛となる。高木商會のみで一日に作るすき毛が五十貫目に及ぶ。この外に捕鯨船の用ふる繩、軍艦にも二三本づ丶太い繩となつて備へられてゐる。また洋服の衿にも縫り込み、油をしめる袋にも用ゐられてある。佛蘭西などには各家々に必ず一つ宛は假髮が藏してあり、その一つが二千圓ぐらゐするものもあると言ふことである。それ等にも凡そ日本人の髮毛を用ゐられる。

▲同じ日本人の髮毛でも土地によつて色と長短に別がある。東北關東九州人の毛は概して長く中國四國人の毛は短い。中にも長崎人の毛は最も長く、丹波丹後但馬人の毛は短く且つ白毛が多い。八九十月頃に脫けた所謂秋毛が年中の最も宜い長い毛で香も宜い。そして女の頭には平均五十匁づ丶の毛が生えて居り一年中には五十匁の毛から百匁づ丶の脫毛が落つるさうである。でもくる〳〵坊主にもならないのは、それほど髮毛の成長が早いからださうな。（民子）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女先生の服裝

不體裁な袴姿

斬雲

□婦人に袴は不調和

婦人が袴を着けると妙に角が立ちます。少女の袴姿はいかにも上品で氣高く見えますが、二十歳越した、そして女學生生活を終つた後の婦人が袴を着けると何にとなく不調和な感じがします。一人前成人した婦人が袴を着けると『變だわね、女先生の樣だ』と皆な堪らなく笑止しい樣な笑を洩します。洋服なら又それでも通用しますが、二十五六歳以上の婦人の袴姿はどう見ても映が面白くないのです。

□女先生か尼さんか

扨て、そんな映りが面白くない袴姿の婦人は、何處に居るかといふに小學校に居るのです。三十四五歳の顏で黑い袴を着けた女先生などは實に氣の毒の感じがします。まるで世を棄てた尼さんの樣に思はれるのです。女は女らしい服裝の上に一種の誇りを有つて居るものです。衣服の着こなしとか、其の柄とか帶の模樣とかの上に調和不調和を考へて、樂しい苦心をし、斯うしたら自分に似合ふだらうかあゝしたら映りが好からうかとうきみをやつす處が女の生命です。必ずしも虛飾虛榮ばかりではありません。出來る丈け立派に見榮え好くと考へるは、男にしても十分にある事で、況んや女に於ては渾身是れ服裝苦心の塊りです。然るに、女先生の姿はどうです。不調和な柄の着物に袴を着けた處はつや氣もなく女らしい趣きがありません。之れでは女先生たる事は、女たる特徴を殺して了ふことになります。

□學校制度が惡い

女先生といふ職業は、女に取つては一番立派な職業です。今日小學校の先生する丈けの學問と辯才とある女は日本の婦人として一流の人間です。私は嘗て小學校を參觀した時、女先生が綿密に行屆いた教授をするのを見て、小學校生徒の教授者としても女先生が好適である事をつく〲感じました。然るにどうでせう、此の立派な知識ある婦人を尼さんの樣に身裝ひさせる社會は餘りに冷酷ではありませんか、質素とか體裁とか規律とかいふ事ばかり考へて女先生を尼さん扱ひにする今日の學校制度は間違つて居ます。今日小學校先生に一番缺乏して居る事は生徒に對する親切といふ事です黑い袴を着けて女とも男とも付かぬ樣な表情をして生徒に物をいふた處で、生徒の方では妙な氣分になつて、先生と生徒間に眞情の融合が出來ません。

□通勤途中の袴を廢せ

海軍方面には、役所へ勤める人が普通の洋服で出かけ、役所へ着いてから制服に着替へるとか聞きました。女先生も、通勤の途中は普通の女と一樣な服裝をし、學校へ着いてから、授業服とでも言つた氣の利いたものを被るとしたら好からうと思ふのです。今の業務服としては、鐵道關係の女事務員の被服が一番氣持が好い樣に思ひます。女先生に對して餘りに規律質素を強ゆる事は、女たる情味を失はしめる事になります。今日女先生は嫌やではないが、袴を着けて歩くのが厭やだといふ人が可なり多い樣です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

染め返し法
今年の冬仕度に

大妻技藝學校長　大妻一惠

今年のやうに木綿か高價てはさても冬の仕度に新らしいものを調へる事は出來ません。洗ひ晒した浴衣や色の褪めた裏地でも少し手間をかければ、全く新らしくなりますから、是非お宅で染色してお使ひになるやうおすゝめ致します。

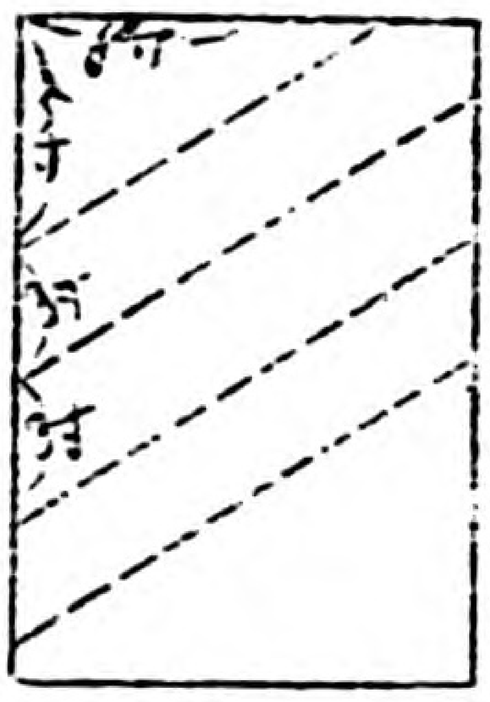
□木綿物の漂白法

先づ浴衣などの古いので模様や縞を拔く必要のあるものは、一反に就いて曹達五匁を布が充分浸る位ゐの分量の水に溶き、これを瀬戸引の洗面器の深目のものか、ばけつゝに入れ、其の中に色拔きすべき布を入れて、三十分間ばかり火にかけて、搔きまぜながら煮ますと、繪具はだん〳〵に拔けて、斑點のやうに種々の色の混つた汚ない汚點が布について參ります。其の時別に盥に半分程水をとり、重曹五匁、漂白粉五匁を袋に入れて、盥の中で振り出し、水が眞白になつた時に先きの布を引き上げて、此の中で濯ぐと汚ない、斑點は取れて、幾度も洗ひ出したハンケチのやうな幾分赤味を帯びた白い無地になります。次に次亞燐酸曹達二匁を

第一圖

第二圖

第三圖



水に溶して三分乃至五分浸けて置きますと、漂白劑の臭氣がとれますからあと一二回叮嚀に濯ぎ、最後の濯ぎ水に水色がゝつたキンピロの如き染料を少し溶いて濯ぎますと、布の赤味はとれて少し青味をもつた白色になります。大概の染めはこれで奇麗になりますが、手拭だけはすつかり色が拔けないやうです。

□簡單な染柄

次は色染めにかゝるのですが無地ものに染める時は適宜の染料をかける丈けで濟みますが、模様をつけるには其の方法も澤山あります。例へば布團柄などにしたいと思ひます時は、布の巾を三つなり四つなりに縱に折り、第一圖の如く三角に折つて二三分巾位ゐの平たい木二本で三角の頂點を裏表から挾んで、木が動かないやうに兩端を結いて好みの染料の中に浸しますと第二圖の如きものが染ります。其の外寢衣、襦袢の袖などにする簡單な絞りは矢張り布の巾を三つ位ゐに折つて二つ割にした薪で挾んで染めたり、第三圖のやうに斜目に箆をして其の上を縫ひ縮めたり、又は同じやうに斜目に布を引き伸して處々を固く結び、其の間を糸でしつかり卷いて染めたりするのも手數がかゝらなくて美しい模様を出す事が出來ます。

□色染め法

染料は隨意の色の木綿染料を一反或は半反と云ふやうに反數によつて求め、微温湯に溶き、一反に就いて鹽三合を加へて、染料が全部溶けた處へ布が蔽はれる丈けの水を加へて布を入れ四十分ばかり搔きまぜながら煮ます。もし色が淡い時には布を取り出して、水にすつかり溶けて居る染料を入れます、粉のまゝですと、斑に染ります。奇麗に染りましたならば、布を他の器に移し暫らく空氣に晒し、別に硫酸銅を二匁に微温湯で溶いて先きの布を浸けて五分間程放つて置きます。そして四五度濯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぎ出し、最後に糸や、木を除り、單衣と同じやうに糊をつけて蔭干にいたします。そして半乾きの時に板なり棒なりに巾を揃へて巻きつけます。

縞ものなどは拔き染めしなくても上から藤色の染料を一面にかけますと、今迄の縞色が總體に少しづゝ變つてまた新しいものになります。

郊外の住ひ

年中轉地の氣分

**或る日府下大井町の閑靜なお住居に橋口夫人香苗子樣をお訪ねする。東京は九十度を越したこの夏も、此處は始終八十六度を超えなかつたとの事、緑の間を縫ふて來る風は、すが〳〵しく冷たい。

『今年は避暑の代りに手ミシンを一臺求めまして、毎日々々そればかりいぢつて居ります。御覽の通り此處は周圍は廣く靑々として居り、海も近いので子供達に蛤や蛤仔を捕ると云ふ樂しみもございまして、避暑の必要もございません。殊に春夏秋冬自然の景色が變化いたしますから同じ場所に居りましてもそんなに苦しいとは思ひません。年中此處は轉地して居るやうな氣で住はれます。』

**『大井から新橋迄は、山の手線で十五分で參られ、乘車賃は一年の定期を求めて置きますと一日が、たつた二錢にしか當りません。それから假令市內電車にお乘り替へになつても、此處と市內との家賃を比較すればづつとお安うございますし、新鮮な空氣で身神の疲勞を早く癒すだけ郊外の方が有益であると思ひます。』

**『以前は四ッ谷に住んで居りましたが、家から一歩外へ出れば商買家が一ぱいありますので、子供は毎日何か買はなければ、承知が出來ず、お金を使ふのを覺えて餘程困りましたが、大井へ參りましてからは殆ど商買屋が目に觸れませんので、幾日經つてもお金の事は忘れたやうに、ものを買ひ度いとも申しません。たまに銀座邊へ連れて行つて玩具でも買つてやりますとそれは大喜びでございます。家事向きの不便は少し位ゐ忍んでも、町から遠ざかつた空氣、風紀のいゝ郊外を住ゐとしては擇ぶべきだと存じます。』と、この一と夏はミシンを前に冬の仕度に費ひやされたと申される丈けに、二人のお子様方の洋服も幾枚かそこに積まれてあつた。

（きよ子）

化粧問答

(問)煉白粉や水白粉に使はずに出來る簡單な薄化粧の方法はどうしたらよろしいでせう(新潟、白妙)

(答)クラブ美身クリームをお化粧下として引き、クラブ刷白粉をポットで押へ加減に刷付け、別の眉刷毛で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし搾りタオルを指に卷付けて眉毛、睫毛などの浮粉を取りますと、瀟洒した薄化粧が出來上ります。又た一つの方法はクラブ美身ゼリーを能く顏に塗り、乾き加減の所へクラブ打粉白粉を打付けて、輕く拭き取つて置いても宜しうございます。此のお化粧法をお採りになりますと、特に白粉をお付けになつたやうでなく、地肌が眞からの色白に見えますので、所謂隱し化粧と申しますのは即ち是でございますクラブ打粉白粉は、羽二重の袋入になつて居りますから、

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭用の食パン

飯よりも手輕に出來る

巽鉄男

我國ではパンと言ふと、直ぐにむつかしいもののやうに思ふのが一番惡い。パンは歐米では恰も我が國の御飯に代るものである。此の御飯より一層無造作に何人にても出來るのは、家庭用食パンである。此の食パンには日本と異つたる道具も必要である。けれ共いづこも同じ事で、時と場合によつて其の方法を講ずるといふ事は、獨りパンに止まらず、何物にも應用せねばならぬのである。故に鍋焼パンと焙烙焼パンとの二種を茲に記して見やう。どんな家庭でも焙烙と鍋の無い家はないであらうから。

口焙烙焼パン

▲原料　麥粉三合、ベキングパウダー大匙にて山盛り一杯、鹽大匙にて一杯、砂糖大匙にて山盛り一杯、バタ大匙にて一杯、牛乳一合

▲製法　第一、麥粉ベキングパウダー、砂糖、鹽を一緒にして篩にかけ、新聞紙の上に置く。第二、バタを溶かし、牛乳の中に入れ置く。第三、丼鉢に牛乳を五勺入れ置き、其上に第一の麥粉等の混和物を入れ、其上に更に殘りの牛乳二勺位を入れ、杓子にて之を掻きまぜ、麥粉に水分たる牛乳が行き亘つたらば、これにてよしとす。若し行き亘らず、まゝ粉が多く其の中に姿を表はす時は、殘りの牛乳を入れ、尚ほ不足するとすれば冷水を増し、恰度我國の團子位に取扱ひの出來得るをよしとす。之を板の上に、粉を撒布し、其上に取出し、二吋半位に延ばし、竹筒にて押し抜き、他の板の上に粉を充分に布き、其れを茲に並べ上より布を冠せ置くこと十分間。

次に七輪に火を作り（瓦斯にても火鉢にてもよし）焙烙をかけ、暖まりたる時、白胡麻を少し焙烙の上に撒布し置き、菜刀の先に前にあたためて置いたパンを掬ひ取り、其の胡麻の上に並べ、七八分の間上より鍋蓋の如きものにて蓋をなし徐々に焼く。蓋を取り、菜刀の先に掬ひ、裏返へし、前同樣に焼く。凡そ十五分間より二十分間迄に焼き上るものである。

此のパンは、普通商店にて賣る食パンとは、造り方の初めより焼く方法に至る迄異つて居るから、素人が見る時は、火が充分に中に徹つて居らないやうに思ふかも知らぬが、決してさうではない、此パンは焼く可き器は金と土との差はあるも、英國佛國にては、上流の家庭で、一日三度の食事中、一度は此を常食として居るのである。

口鍋焼パン

原料と作業とは前同樣

異る點は焙烙の代りに鍋又は釜を用ふることである。此の釜又は鍋は鐵製のものに限る、陶器塗のもの等を用ゐてはならぬ。又平たきものでなければ置く可き面積が無いため、之をよく初めより選擇しなくてはならぬ。

以上のパンは孰れも、我國の焼餅の如く、あたたかき中に、食す可きものである。バタ又はジャミ等を少量宛附けて食べるのが最もよろしい。

御携帶にも頗る御便利でございます。

（問）天瓜粉は身體へ振つても害のないものですか（大阪、玉枝）

（答）天瓜粉にも依りますが、クラブ天瓜粉のやうな優秀な天瓜粉なら、幾らお使ひになつても差支へありませんのみならず、著しい治療的効果を有つて居ります。クラブ天瓜粉は汗や脂を吸收して水分の蒸發を促し、肌温を冷し、血管を收縮し、充血を退け、從て皮膚に清涼の感を與へますから、汗おさへ、たゞれ止め、乃至鎮痒劑として殊に夏季は片時も欠かされない必要品でございます。近頃は天瓜粉の代りに白粉兼用のクラブタルカンを愛用せらるゝ御婦人も殖えて參りました。クラブタルカンは髭剃の際、剃刀負けを防ぐ爲に、紳士間にも賞用されて居ります。何れも宮内省、皇后宮職、各宮家の御用品でございます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（十三）

かすら（上）

琴子

月曜日から、又デビッドの仕事が初まりました。草むしりやら、薪運びやら、いやな事は何でも「しなければならぬ事」で木の下で遊んだり、川を見に行つたり、虫を眺めたりする事は、何でも「してはならない事」でした。

「折角く綺麗に生へて居る草をぬくのは、可愛想です」とデビッドがいつでも言ひ張るのと、美しい雲が見える時や、花が咲いて居る時や、烏が歌つて居る時に、デビッドを働かせるのには、ハアレーも、随分困りました。

けれどもデビッドは、一生懸命、氣をつけて働きました。ですから、ハアレーは、四時に仕事をよさせてくれました。デビッドは大喜びで、飛んで野原の方へ出て行きました。少し雨がふりさうな模樣でしたから、ヴアイオリンは持つて行きませんでした。

原へ行くとすぐ一匹のからすが目につきました。デビッドは山に居た時分からからすとはお友達で、烏の話が解る位でした。

そして、烏が大きな羽をひろげて、空を廣く飛んで居るのが勇ましくて、大好きでした。處が、この烏は畑のふちに居て、バタ〳〵、バタ〳〵と時々ひくゝ飛ぶだけです。「をかしいなあ？」と思ひながらそばへ行つてみると、皮のしつかりした紐で、しばられて居ました。「やあ可愛想だなあ、僕、今よくしてやるよ。」と言ひながら、ナイフを出して、紐を切らうとしました。

烏はデビッドの親切が解りません。石をなげたり空氣銃を打つたりする、いたづらつ子だと思つて、あばれて紐をきる事が出來ません。デビッドは、自分の上着をぬいで、無理にかぶせて、やつと切つてやりました。

すると、嬉しさうな烏は、氣持よく羽をひろげて、空の方へ高く、高く飛び上つて、行つてしまひました。

それを見たデビッドの心もひろ〳〵したやうないゝ氣持になりました。

さんざん遊んで家へ歸つたのは六時でした。入口で、下男のベレーに會ひました

「ヤア！お歸り！草むしりが出來ましたかい？」

「アヽ、けれども僕きらひだ。」

「さうさなあ、かなり熱い仕事だからなあ。」

「僕、暑いのいやぢやないや。可愛らしい草を皆ぬいて、枯してしまふのが僕いやなんだ。」

「へエ……」

「でも、僕、今迄遊んで來たから、いゝ心持になつたよ、僕、道で烏を逃してやつたの。うれしさうに、歌つて行つたよ。」

「エ？からす？お前さん捕へたのかい？」

「ウヽン。畑のふちにしばりつけてあつたのさ。あんまり可愛想だから、僕、にがしてやつたの。」

「エ？そりや、お前さん、一體どこの畑だつたい！まさか、己れの捕へた鳥を逃したんぢやあるまいね、エ？どんな鳥だい。」
「向ふの畑さ。皮の紐でしばつてあつたよ。」
「エ？何んだい？あの鳥？お前さん、あれにさわりやしまいなあ？」
「あばれて、さわらせないのさ。だから、僕、上着をぬいでかけて、それからはなしてやつたのさ。」
「何だ？はなした？エ？お前さんそりや本氣かい？己れがあんなに苦勞して、一週間もかゝつて、やつとつかまへたものを。そりや、あんまりぢやないか？旦那に言つたら何つておこられるか。」
デビッドは別に氣の毒さうな様子もしませんでした
それよりも可愛想だと言ふやうな顔をして
「お前さん、わざとつかまへてしばつて置いたの？。」
「さうだとも。」
「まあ！あんなにいやがつて居るの、解らないの？」
「いやだらうが、好きだらうがかまふもんか、あのいたづら者畑をあらしてばかり居やあがるぢやないか。何だつてお前そんな餘計な事をしたんだい？」
「だつて、お前さん、若しか大男が來てお前さんをしばつて行つたらどんな氣がする？可愛想ぢやないか。」
「何だい！お前になんか言つてきかされたくもない。」ペレーは眞赤になつておこつて家へは入つて行きました。
其晩、デビッドは、ほんとにつらひと思ひました。ハアレーもお神さんもよつぽどおこつて居たやうでした。そしてデビッドはもう家へ置いてもらへないやうな氣がしました。
其晩、デビッドのヴァイオリンはなさけない、悲しい音を出して居ました

子供の智慧

□暑くては破裂する

M子(八つ)が線香花火を母に渡す時、「これ凉しい處に置いて頂戴」と申します。「凉しい處に、なぜ」ときゝますと、「暑い處におくと破裂してしまふから」といひました。

□金魚へも土産

衛さん(八つ)は、十錢母さんから電車賃にと貰つて他所へ遊びに行きました。往復歩いて歸りに五錢兄さんや妹にお菓子を土産に買つて來ました。そして「一錢丈け金魚にもお土産を買つて來た」と、淺蜊の貝殻に入つて居るのを出しました。

□衛さんの金魚養育法

同じ時、衛さんは其の土産を貝殻ごと池の眞中に入れてやります。お祖母さんが「少し宛入れてやつた方がいゝだらう」と申されると「うゝうん、金魚はお腹一杯食べれば、あと食べりやしないよ」とこれが衛さんの金魚養育法です。

□「十錢の小鳥」

三郎さん(六つ)は鎭守の祭で山雀の藝を見て來ました。翌る日母から貰つた十錢を握つて、小鳥屋に驅け付けました。「十錢の小鳥をおくれ」と申しますと、店番のおかみさんは「この小鳥は十二錢ですが十錢におまけしてあげませう。おや、坊ちやん籠がないんですね、それではお宅に歸つて、お母さんと御相談なすつていらつしやい」と云はれたとて、すごくと歸つて來ました。

弊店の特色
御召 織式 縞染
△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候
中澁谷六百十八番地
(玉川電車通西郷邸前)
百足屋染物店
平田孫太郎

生徒募集
個人教授
裁縫手藝
師範科(四月及九月入學)家政科(四月入學)
和服裁縫、刺繍、造花、編物、袋物、摘細工、綿細工、儀式用折紙並水引結方、縫細工、塩細工
染絞(以上入學隨時)
詳細規則書郵劵二錢ヲ要ス
東京市麴町區上六番町七番地
私立 大妻技藝學校
電話番町 一二二〇番
振替東京三一六〇九番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

犬と彼等（二）

高田てい子

まへの日おれいは、Y新聞にのつてゐたある人の斷想的な短い文を讀んだのであつた。その中には、道に落ちてゐた小さい花に對する愛の心がしるしてあつた。

つゆのはれ間の熱い道を歩いてゐたとき、摘まれてまもなさそうな草花が投げすてられてあつた。自分はそれをひろひあげて流れにながしてやつた。あつい日光の下で干からびるよりも流れて沈むほうが花の爲めに幸ひであらうと思つたから。

靴のほこりを拭はうとして草の青い堤にのぼつた。しかし草も夏の一日をたのしく生きやうとしてゐるのでないか。自分はそう思つたとき、むしりかけた草をそのまゝにして泥靴のまゝで歩いた。その日自分は大へんいゝ事をしたやうに思つた。

そういふ意味のことが、しめやかな美しいそしてそしてもつと細かな言葉であらはしてあつた。おれいは平常からその人がR雜誌などに寄せる感想をしたつてゐた。さびしい言葉と靜かなこゑが、いつもその人の筆をとほしてながれ出てゐた。廣い野面にひとり立つて、自らの歌ふかすかな歌聲に涙ぐむやうな悲しみを感じさせられた。ある時はたゞ孤獨の足音だけをきいた。けれども愛と眞とへの切なるあこがれが、全靈心の端脈にまでこまかくふるえてゐるのを感じた。

おれいはその日もその人の筆をたどつて愛の靜かな感激のなかに引かれていつた。

正午後彼女は、竹の棒ぎれにい、もちをまきつけて、何疋かの蠅を捕へて殺した。殺しながら蠅だつて生きてゐたいのだらうにと何度も思つた。たまらなく蠅を憎みいとひ、それに神經をいら〱させながらも、蠅の命を哀れんでゐた。一疋の蠅には何十萬かの黴菌がまとひついてゐるといふやうなことまで考への中に含めて、一日の間に自分は何百萬の殺生をすることだらうなど、極端にまでそうした想ひをひろげていつた。

——すべての生物は生きてゐたいのだ。海に岡に山に海に野に棲息する、また生茂するどんなものでも……。然し人が萬物の生をいとしんで——神にひとしい普遍性の愛をもつて——生くるまゝに生かしめておく事を主張するならば、人間自身の生活はどうならねばならないだらう。それなら人の生活を妨げ、害ふものに對して

十六

は、それ自身の生命と存在とにかゝはりなく、拂ひのけ殺し去ることが人にゆるされた自由だといふのだらうか。それでも自分はすべてのものをいとしみ抱いてゆく愛を敎へられてゐる。そして現に草にまで及んだ人の愛の行爲に感激してゐる。そこに少しの矛盾もないだらうか。なほそういふ考へを見えない世界に押しあてゝいくとき……？

おれいはその日蠅をとりながら、わけのわからない思想の建物の長い廻廊を彷つてゐた。しかし彼女のかよわい能力の足は一つの考への發程から結末までまつすぐ行きつくことは容易でなかつた。横道にそれるか、立往生するか、そつと後に引かへすかしなければならなかつた。丁度朝霧につゝまれてひろい原をあてなしに散策する閑人のやうだと、おれいは自分を笑つてゐた。笑ひながら彼女は、濛々した霧のなかを無茶に歩いてゐた。そして結局は疲勞のほかな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

んにも得るものはなかつた。つまりなんにも解からないのであつたが、おれいは矢つぱり道の上に投げられてゐた花を流れに晒ほし、野草の生命の一日を尊んでやつた人の愛の心をなつかしんでゐた。

こういふ過程によつておれいの胸に醸された愛が、捨てられた小犬のうへにすぐ役立つたのであつた。

「可愛そうに、どんなに生きてゐたいのだらう」

けれど、とても清伍のゆるしが出ないのを思ふて、反むいた心でとほくに犬を追はふとしたのだ。

「連れてきたよ」

やがて玄關でその聲をきいたとき、おれいは悦びと驚きで立ちあがつた。

「連れて？」

「呼んだらね、あの崖をやつと上ぼつてきてね、もうどうしても離れないんだ」

「そう、まあこんな小さい犬だつたのね」

まるく肥つた茶色の小犬で、背から腹を埿と水にぬらして、克次の後にきよと〳〵してゐた。

「どれ、飯でも食べさしてやらうか」

清伍は自分で御飯におつゆの殘りをかけたのをもつてきた。そしていきなり地面にびしやりとまけた。犬はがつ〳〵喰ぢりつくやうに音をたてゝそれを食べはじめた。

「隨分おいしそうね、美やましいやうだわ」

「お腹が空いてたんだね」

「あんなに泣いてたんですもの」

「生れてどの位たつてるだらうね」

「さあ一月半ぐらゐのものかな」

「黒い鼻ね、そして體のわりに耳が大きすぎるわね」

「眼やにが出てるじやないか、まさかトラホームじやないだらうね」

「泣いてたからでせう、犬だつて悲しくつて泣くときは涙がでるんでせう」

「前足がばかに太いやうだね、こりや獅子の性かも知れない」

「男かしら？　女かしら？」

「女だから捨てられたんだらう」

「犬まで女は惡い割りまへきり貰らはれないのね」

「何處で生れたんだらうな」

「どうせ私生兒だらう」

「犬なんかみんな私生兒にきまつてますわ」

「私生兒で捨兒か、可愛そうな奴だな」

充分に腹をうづめた犬は、四人の勝手な批評のとりまきの中で温柔してゐた。

新刊紹介

口又逢ふ日まで（上澤謙二氏編）物語十集百篇中の第一集として生れたもので、其の材料は多く事實に基き、童話にあらず、寓話、教訓譚でもありませぬが、何れも面白く讀ませる中に、一種の精神教育を與へます。物語を菓子よりも愛好する子供にとつて、これ等の出版は誠に喜ばしいことであります。（麹町區平川町五丁目洛陽堂發行定價金四拾錢）

齒科診察
府下千駄ケ谷町五百六十三番地
齒科醫學士　大久保透

シンガー裁縫院　生徒募集
●和洋服刺繡（東京有樂町一ノ五）
●ミシン專修　●毎月五日迄入學

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□淳宮御入京の決定　目下日光田母澤御用邸に御避暑中なる淳宮殿下には九月一日より陸軍中央幼年學校豫科第三學年へ正式に御入學、一般生徒と共に同樣の教育を受けさせ給ふことに御決定相成りました。

□東久邇宮峻嶮御登攀　東久邇宮殿下には十八日白馬山より鎗ヶ嶽に向はせられ、それより杓子ヶ嶽に御登攀、午後六時五十分北城村四谷に御着、十九日には松本より川中島古戰場を御遊覽、廿日朝御歸京遊ばされました。

□常磐會の名譽會員に　舊華族女學校、學習院女學部卒業生團體の常磐會にては、今般青山に新築中の學習院女子部構內に事務所新築の擧を聞召され、先般皇后陛下より御思召を以て金二千圓下賜の御沙汰がありましたが、同會にては益々團體の基礎鞏固を圖る爲め曾て御在學遊ばされたる伏見若宮博恭王妃經子殿下、東伏見宮依仁親王妃周子殿下、梨本宮守正王妃伊都子殿下を名譽會員に御推薦申し上げ、別當又は宮務監督を經て請願に及びました處、御承諾相成りたる由拜承致しました。

◉羅馬法王講和提議　羅馬法王ベネヂクトは諸交戰國に對して講和提議の通牒を發しました。其の內容は征服されたる諸獨立國を恢復し、又從來爭議の中心となり、又は將來再び戰爭を起すの原因ともなるべき惧れある領土は友誼的に整理し支配せんとの意味で、即ち白、塞、羅國の恢復併にアルサス、ローレン及び波蘭土の平和整理を意味するものであると申します。然し聯合各國及び米國の態度は一般に强硬であり、我國の占領中なる商洋獨領諸島の如き東洋方面に關しては、何等法王は論及されて居ないとの事で、果して好果を得るや否やは不明ですが、右回答はいづれ聯合諸國協議の上共同の形式によつて法王のもとに送られる事となりませう。

◉露國廢帝の近況　革命以來ツアールスコエ、セロ宮殿に幽閉されて居た廢帝ニコラスの一族は、今回更に西伯利亞ボルクに送られて所謂流謫の身となられたと申すことです。このボルクと云ふ地は何邊であるか一寸不明ですが、多分西伯利亞鐵道の一驛なるカンスクの西北に當つてイュニセースク市との中間のボルキー地方ではあるまいかと申されます。此處は前政府が多くの政治犯を送つた地で、冷酷な監視のもとに米鹽も十分に與へられず殊に防寒設備もない土地のこととて流刑者は死刑よりもこゝへ來るのを恐ろしく思つて居た處でありますから、かゝる假地に送られし廢帝一族の今後の生活は一際悲哀のものと思はれます。

◉第一回婦人軍事會議　去る十五日露都に於て第一回婦人軍事會議開催せられ、革命のお婆さんと綽名されたブレシコフ、ブレシコフスカヤ女史は同會代表者の一人として出席し、婦人決死大隊の分列式後に議事會は開かれました。

◉支那愈々宣戰　支那政府は十四日午前十時大總統令を以つて獨逸及び墺太利に對し宣戰いたしました。

◉張勳の處分　支那政府は張勳の處罰に就いて種々考慮中でありますが、和蘭公使が飽く迄政治犯として保護せんとして居りますので、政府は佛國公使の意を求めました處和蘭公使の提議を承認し、蘭領印度の一島に張勳を送つて餘生を樂しましめ、北京にある張勳の徒の暴動を防ぐの要を說かれ、支那政府は殆どこれに同意しました。

◉國立感化院成る　去る十八日勅令を以つて國立感化院令は制定され、それと同時に法學博士小河滋次郎氏は同院長心得を命ぜられました。今回の官制本年度に於て爲し得るだけの準備をした所謂間に合はせの的のもので、約二萬五千坪位ゐの敷地に建築して明年四月から實施さる事になつて居ります。同所は英國の感化學校と言つた風のもので、割合に感化し難い年長の不良少年を感化教育をする目的でありますから、年齡も特に十四歲以上と定めてあります。而して此處に入院すべき少年は全國の感化院にて事實上感化不能の狀態にあるものを選擇の上入院せしめ、以後六ヶ月間は鋤鍬を持たせて百姓をやらせ、其の惰性を陶冶して、趣味を養ひ職業を與へるやうに努め、當は感化院、不良少年等の如き響きの惡い言葉を廢して、何か適當な感じのいゝ名稱を附し度いと當局者は苦心して居ります。因に敷地は府下豐多摩郡和田堀內村濟美學校所在地に略決定、收容人員は當分百五十名位ゐの少數であると申します。

◉敷島艦の椿事　十六日午後十時四十分五島列島沖にて戰鬪射擊中なりし軍艦敷島の尾栓破裂し、上田一等水兵以下四名即死、重輕傷者十一名を出し、同艦に佐世保に歸港、負傷者は海軍病院に收容されました。殉難者の葬儀は十八日佐世保元町なる教法寺に於て行はれました。

◉菊池大麓男逝く　樞密顧問官理學博士男爵菊池大麓氏は七月下旬來、家族と共に相州茅ヶ崎の別邸に避暑中でありましたが十八日午前中輕微の下痢を催しさしたる事もなく十九日朝に至り、新聞を見て居らるゝ中突然腦溢血を起し、應急手當の効もなく同六時遂に逝去されました。享年六十二、遺骸は重態の體にて同日午後三時五十一分茅ヶ崎驛發にて東京の本邸に送られました。男は舊津山藩士箕作秋平氏の二男で明治十年菊池家を興し、英國に留學を命ぜられし事二回、頭腦明徹特に數學に造詣深く、東京、京都の兩帝大總長を初め其の他の榮職を歷任し、我國の學界に寄與せられし功績頗る多く、常識の圓滿な英國的紳士であられました。畏き邊にては男の功を嘉せられ從二位に敍し、旭日大綬章を授けられ葬儀に際し、祭粢料三千圓を賜りました。

◉奥田市長逝く　畏きに功勞により特に男爵を授けられたる奥田市長は二十一日午後六時三十分宿痾の肝臟癌に急性腹膜炎を併發して、遂に逝去せられました。享年五十八。氏は熱心と誠實の凝結を以て市政に當られ既に危篤に陷る迄電燈問題に頭を惱し、逝去の三十分前其の筋より電燈許可の報告あるや、氏は嬉しさに堪へざるものゝ如く「夫れは宜かつた。病氣の爲、後始末をする事の出來ないのは殘念です」と微かに云ひ畢るや昏睡狀態に陷り終に永眠されました。男の危篤の趣天聽に達し特旨を以て位一級を進められ、從二位を賜りました。家人は夫人八重子を始め、令息剛郎氏同夫人美喜子、松平忠壽子爵家に

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

嫁げる長女咲子、其の他の令息令嬢方があります。今この良市長を失へるは遺憾に堪へませぬ

◉岩村透男逝く　曩に東京美術學校教授たりし從四位男爵岩村透氏は、豫て糖尿病にて、三崎に轉地療養中十七日、遂に逝去せられました。氏は多趣味の人で美術界には評論家として知られた人でありました。

◉伊藤公爵家の秘錄　伊藤公爵家の大森恩賜館は現當主博邦公より明治神宮に奉獻のことになりましたが、博邦公は先公博文卿畢生の事業たる憲法制定に關し當時の大家と往復せし秘密文書を綴込みたる大遺著國憲記念編纂秘錄一卷其他法典編纂に關する秘錄七十餘冊を全部宮中に獻上することに決し、猶公爵家所藏一萬部に近き圖書は明治神宮に奉獻する由です。

◉遣米議員定まる　既報いたしました我國遣米議員は政友會から島田俊雄、政尾藤吉、憲政會から望月小太郎、國民黨から植原悅二郎、維新會から山根正次計五名の諸氏が行かるゝ事となり、多分來月廿日頃出發の筈であります。

◉小學教員の増給　東京市の小學教員増俸は既に市參事會に提出されて居りますが、市長病氣の爲め未だ行き惱みとなつて居ります。然し本郷區のみは率先して十五日區會を開き、臨時手當の名義にて教員二百五十名に對し四十圓以下二十五圓迄金三圓、二十五圓以下二圓五十錢、小使日給金五錢、給仕日給金二錢、事務係金二圓の割合に當分の內支給する事になりました。

◉校醫の誤　島根縣邇摩郡福光村小學校生徒に兩眼失明者三名片眼失明者四名を出し、失明者は孰れも苦痛を訴へ出ました爲め、宜く精査しました處、校醫の過失により癩病治療の際に使用した器械を用ひて虎眼豫防の藥品點眼を爲したる爲め、癩毒眼に入りて失明したるものと判明し、縣下の大問題となつて居ります

◉病に惱む三閨秀畫家　追々文展期に入つて、美術界もざわめいて參りましたが、昨年の文展には日本畫の閨秀作家の顔振れが非常に少なく一種の淋しみを感ぜさせられました。然し本年も亦、池田蕉園女史は病氣の爲め鎌倉にあつて執筆不可能であり、河崎蘭香女史は二三月以前からバセド病に冒されて箱根宮の下に療養中。岡本更紫女史は脊髓病で近く病院に入られたと云ふ事でありますからこれ等三女史の作品はとても見られない事と思ひます。唯栗原玉葉女史ばかりが朝鮮の旅行土産の大作を熱心に執筆されて居ります。

◉南洋へ渡る二看護婦　東京順天堂病院に奉職中の看護婦青木つる子(二三)高橋百合子(二二)の兩女史は今廿四日横濱解纜の多聞丸にて南洋ヤルート南貿病院附として赴任する事となりました。兩女史は曩に來朝中の觀光南洋珍客一行中の數名が嘗て肺炎の爲め順天堂赤坂分院に入院加療中とくに看護婦としての天職の重大なるを感じ、廣く世界的に博愛精神を發揮するには南洋の如き醫師病院等の乏しき地方こそ好適の地ならんと、當時珍客一行の引率者たりし中根書記にその旨を通じました處、同氏のきもいりに依つて今回其の目的が達せらるゝに至つたのであると申します。

◉救世軍の看護婦學校　救世軍では、來る九月十五日から下谷仲御徒町三ノ四なる救世軍病院内に看護婦學校を設立し、やがては看護婦會をも設けて、信仰の光りの上に立つ善良なる看護婦を教養する計畫が成立しました。募集人員は四五十名、學力は尋常小學卒業程度で六ヶ月後には卒業する事が出來る組織であると申します。卒業生は救世軍病院もしくは施療院内の看護婦見習生に採用し、又は開業醫のもとへも周旋することゝ定められて居ります。

◉第二回産婆試驗　東京府にては來る十月九日より第二回産婆試驗を施行する事になりました。志願者は九月中に同廳へ願書を差出し、實地受驗者のみは十日十三日府廳へ出頭を爲すべしと。

◉避暑地から歸つた兒童　東京府慈善協會の主催になる各保育所兒童の夏期轉地療養團四十七名が去る十日千葉縣八幡宿に避暑した事は既報の通りでありますが、樂しい田園生活や、涼しい海水浴に興味の盡くる時もなく日を暮して居りましたが、十七日無事に歸京致しました。一行の兒童は非常に元氣で何れも一二斤宛體量を増し結果は頗る良好であつた由です。

個人消息

△石野かず子　五節の舞姬の一人なりし、石野子爵二女かず子姬(二〇)は、尼ヶ崎の素封家本崎利一郎氏長男利之助氏と(二九)婚約なり、十九日宮內省に結婚許可を願出ました。利之助氏は京大法科出身の秀才で住友東京支店詰なる由です。

△隅元中將母堂逝去　陸軍中將隅元政次氏母堂岩子(八〇)は過般來病氣にて臥床療養中なりしが十三日逝去、葬儀は來る十八日午後三時自宅出棺市川弘法寺にて佛式にて營まれました。

△恒川靜子　恒川陽一郎氏未亡人は今回夫君の親友なる工學士岡田信一郎氏と婚約なり、二十日夜星ヶ岡茶寮にて式を擧げました。

編輯室より

▲前號の校正を終つた編者は渴した者のやうに御殿場に走りました。清涼な空氣の中に數日を過したのみでも、心身がすが／＼しく蘇つて來ました▲青田の眞中を通つて居る一と筋道で ふと三宅雪嶺氏と花園女史にお目にかゝりました。車上の女史は『是非遊びにいらつしやい』と美しい聲を殘して行かれました。歸京の時間にはまだ三時間ありましたので、其の後さを追ふて東山の山莊をお訪ねすると、浴衣がけの女史は、賑やかに迎へて、畑に出來た枝豆などで、うれしい饗應をして下さいました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表
△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意
▲御註文は必ず一切前金の事▲郵券代用は一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町 六二一番
院長 醫學博士 高田畊安
東洋內科醫院

電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印 赤 白
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
東京市日本橋區通旅籠町
宮內省御用達 發賣元 甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す　（ピアノ個人教授の需めに應ず）
英語專門私立 **櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

耳鼻咽喉科專門
（入院隨時）
院長 耳鼻咽喉科 **大野醫院**
大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 三三五七
東京至誠病院

產科、婦人科、小兒科
東京府內藤新宿番衆町卅一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電話京 二二三一番）

家庭衛生講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部內。
一、期間　自毎月十六日至次月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習科　金十圓也前納の事。
一、人員　十名を以て定員とす。
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、講習主任　醫師藤井孝。
一、主催　婦人矯風會東京部會。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋風そよと吹かば

之れよりは肌のお手入れが肝要です

ホーカー液

東京で一番よく賣れる家庭化粧料

初秋のお化粧は簡單に出來るお化粧料が一番宜しふムいます。ホーカー液の一、二滴を朝、顏をお洗ひになつた後・夕、お湯上りの後にお塗けになれば素肌をサッパリと美しくお化粧を樂しくなさる事が出來ます。

ホーカー液 定價小瓶廿錢、中瓶四十錢、大瓶八十錢〇[illegible]
ホーカー白粉
ホーカー美[illegible]液

本舗 堀越嘉太郎商店

[illegible]

忽四版

人の情

● 小栗風葉先生著

四六判上製頗美本三百餘頁
總假名付口繪寫眞版數葉付

全一冊

定價金八十錢（送料八錢）

○本書は作者獨特の濃艶極りなき文彩を以て可憐なる女主人公が[illegible]を捨て名譽を捨てゝ戀人の爲めに盡くす短き其一生の哀史を描いたものである悲しく優しく又儚なる女主人公の運命とそれを取り巻く波瀾ある事件とは如何な[illegible]情[illegible]をも泣かさずには居[illegible]讀[illegible]んで泣かざるものは人にして人にあらずと云ふを得よう。

金色夜叉以來の傑作小説出づ

東京神田美土代町一丁目
發兌 止善堂書店
電話本局五四〇九番
振替貯金東京三六一三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社